

## CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	セコムラグビーフィールド再整備計画	階数	地上4F
建設地	埼玉県狭山市柏原字森ノ上237番41	構造	RC造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	100 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年11月 予定	評価の実施日	2025年7月15日
敷地面積	19,844 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	1,843 m <sup>2</sup>	確認日	2025年10月3日
延床面積	4,185 m <sup>2</sup>	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> <p>環境品質 G</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質			
Q のスコア = 3.0			
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 3.0</p>	
LR 環境負荷低減性			
LR のスコア = 3.0			
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.1</p>	

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
地域に根差した、選手とファン(観客)の関係が近いスタジアム計画		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
1階通路、2階観客メイン通路とともに半外部空間とし、通路に面した各室に自然換気を取り込みやすい計画	不特定多数が利用する観覧施設のため、耐久性の高い材料を選定 階高を高く確保するとともに、天井を設置しないことで、不特定多数の一斉利用でも開放性を感じさせる通路空間を	敷地の大半を占めるフィールドの天然芝に対し、十分な通風を見定める配置計画をシミュレーションで確認 周辺環境から突出しない建物高さで計画することで、景観性にも配慮
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
全熱交換機やLED照明、人感センサー等の採用	擬音装置付き衛生器具の採用により、節水に配慮	競技用照明は敷地外に光害を生じないように、照度分布図を作成し確認 観覧施設の特徴として、一定時間に不特定多数の観客来場が想定されるため、自家用車での敷地内来場は禁止とし、シャトルバス等の運用を計画

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**セコムラグビーフィールド再整備計画**

 ■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階			
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
<b>Q 建築物の環境品質</b>					
<b>Q1 室内環境</b>					
<b>1 音環境</b>		3.0	0.15	-	-
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-
<b>2 温熱環境</b>		2.4	0.35	-	-
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-
1 室温		3.0	0.38	3.0	-
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	-
<b>3 光・視環境</b>		3.3	0.25	-	-
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-
2 方位別開口		-	-	3.0	-
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-
1 昼光制御	ブラインド及び庇または屋根による昼光制御	4.0	1.00	3.0	-
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-
<b>4 空気質環境</b>		3.6	0.25	-	-
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-
1 化学汚染物質	使用建材はF☆☆☆☆以上または規制対象外建材で計画	4.0	1.00	3.0	-
4.2 換気		3.3	0.30	-	-
1 換気量	一人当たり30[m3/h]で換気量を計算	4.0	0.33	3.0	-
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.50	-	-
2 喫煙の制御	建物内は禁煙の計画	5.0	0.50	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-
<b>1 機能性</b>		2.8	0.40	-	-
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40	-	-
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	3.0	-
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0	-
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-
3 内装計画		3.0	0.33	-	-
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-
1 維持管理に配慮した設計	不特定多数の観客利用に配慮し、耐久性の高い仕上げ材を選定	4.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>		3.3	0.30	-	-
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	耐震性能1.25で計画	4.0	0.80	-	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.30	-	-
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	耐用年数が長い管材を選定	5.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-
2.4 信頼性		2.6	0.20	-	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3 電気設備		3.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.2</b>	0.30	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>3.8</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	平均階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		2.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.0</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.3</b>
1	建物外皮の熱負荷抑制	[BPI <sub>m</sub> ]:0.35	<b>5.0</b>	0.20	-	-	<b>5.0</b>
2	自然エネルギー利用		<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.81	<b>2.9</b>	0.50	-	-	<b>2.9</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
1.1	節水	節水器具の採用	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.4</b>	0.60	-	-	<b>2.4</b>
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
3.1	有害物質を含まない材料の使用		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2排出量が一般的建物より抑えられた計画	<b>3.3</b>	0.33	-	-	<b>3.3</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
2.1	大気汚染防止		<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		<b>3.0</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	シャトルバスの運用を計画	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

## CASBEE埼玉県

## 重点項目シート




■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

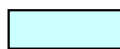
建物名称	セコムラグビーフィールド再整備計画	BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	-------------------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO <sub>2</sub> の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア					
3.3	+	3.0	=	6.3	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 		

## 3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO <sub>2</sub> の削減		スコア平均	3.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.3
一般的な建物と同等以下となるように計画			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
敷地の広い範囲を天然芝(フィールド)での計画としており、敷地内歩行者空間等への温熱環境を緩和			

 : 入力欄